

# 本書を読み解くためのキーワード

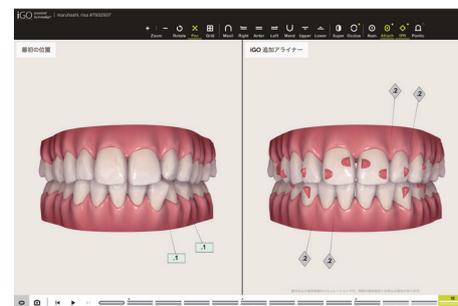
## ケース アセスメント（症例評価サポート）

アライン・テクノロジー社（以下、アライン社と略）が提供する「インビザライン Go システム」では治療を開始するにあたり、ケース アセスメントとしてその症例の治療難易度を事前に評価することをサポート。スマートフォンなどで提供される専用アプリを用いて患者の写真資料を採得後、アップロードし主訴を選択すると、難易度が提示され、インビザライン Go システムによる治療を行うかどうかの目安とすることができる。



## クリンチェック・ソフトウェア

アライン社が提供する治療計画確認・承認用のソフトウェア。送付資料をもとにシミュレーションされた治療計画を、PC ウェブサイト上で同ソフトウェアにより歯の移動程度を3次元的に段階を追って確認することができる。必要に応じて修正し、計画内容を承認すると、実際のアライナーが作製される。



歯科矯正用治療支援プログラム  
(製造販売承認取得済)

## IPR（歯間削合）

歯列不正を改善するにあたり歯牙移動のためのスペースが必要な場合には、歯間部をわずかに削合（ディスクング）することにより空間を確保する（IPR：Interproximal Enamel Reduction）。クリンチェック・ソフトウェアによるシミュレーション結果をもとに、どのステージでどれだけのIPRの量が必要かは計画され、明示されているため、それに従いダイヤモンドストリップスなどで適切に行う。



## アタッチメント

インビザライン Go システムではシミュレーション結果に基づき、アライナーの矯正力が適切にかかるよう、自動で設計された形状のアタッチメントと呼ばれるボタン状の小さな突起物を必要に応じて歯面に設置する。設置用のテンプレートも準備され、光重合型コンポジットレジンを使用し歯面に装着することができる。

